



松山 篤夫 議員

## 「60歳代を高齢者と 言わないたかやま」 宣言

### 高齢者対策について

**問**「60歳代を高齢者と  
言わないたかやま」を  
宣言したらどうか。市  
長も『「高齢者世代」  
という呼称を「生涯現  
役世代」という呼び方  
に改革し、様々な活躍  
の場を提供します』と  
約束されている。宣言  
によって、豊かな知識  
と深い経験を持つ高齢  
者の方が、はつらつと  
元気に社会貢献・活躍  
できることにつながる  
と考えるが、市の見解  
は。

**答**生涯現役世代の方々の  
活動や取り組みによ  
り、市民の意識が高  
まっていく中で検討す  
べきではないかと考え  
ている。

**問**内閣府の意識調査に  
よると、60歳以上の7

割の方が、「70歳もし  
くはそれ以上働きた  
い」と思っている。高  
齢の方でも、自らの意  
思を活かすことによっ  
て社会を支える側にも  
回れる。社会とのつな  
がりを持ち続けたいと  
思っている方のキャリ  
ヤやボランティア活動  
への思い、希望をマッ  
チングする「生涯現役  
応援センター」を設置  
することが必要である  
と考える。市の見解は。

**答**生涯現役世代の方々の  
の意思や社会のニーズ  
を把握し、マッチング  
させることが重要であ  
る。現在のところ設置  
予定はないが、同様の  
役割を担う仕組みは必  
要であると考えている。

### 観光戦略について

**問**ミシュランのサイト

を通じて高山市の情報  
が世界中に発信されれ  
ば大きな誘客効果があ  
ると考えるが、市の見  
解は。

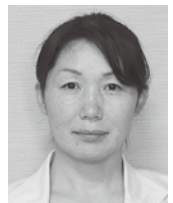
**答**予算的な面も考慮す  
る必要がある。今後の  
検討課題としたい。

**問**国府町には、「こう  
峠口古墳」や「大塚古  
墳」のような素晴らしい  
文化遺産がある。ま  
た、市内には66の「秋  
葉様」が確認されてい  
る。これらの観光資源  
と歴史の一体化による  
「物語」を仕立てて誘  
客する戦略を展開する  
べきでは。

**答**市にとっても大きな  
課題である。誘客の分  
野でも「地方創生」の  
対応策を国にも提案し  
たい。



国府町広瀬町にある「こう峠口古墳」



若山 加代子 議員

## いのちをはぐくむ 森づくりを!!

### 熊の目撃状況と対策 について

**問**熊の目撃情報が非常  
に多くなっている。目  
撃件数と、これまでと  
られた対応は。

**答**目撃件数は、11月末  
現在464件で、昨年  
度の目撃件数148件  
の3倍を超える件数。

これまで様々な媒体  
を駆使しての情報提供  
消防団の協力を得ての  
夜間巡回、注意喚起の  
実施、高山警察署・有  
害鳥獣捕獲隊・岐阜県  
と連携したパトロール  
や捕獲の実施などの対  
策を実施してきた。

**問**熊が生活できる環境  
の整備を市民の協力を  
得ながら進めるべきで  
はないか。

**答**奥山で人工林の間伐  
を強度に行い、広葉樹

が混在した林に誘導し、  
森林の多面的機能を十  
分に発揮させ、野生動  
物が生息できる森づく  
りを促進していく。市  
民参加の森づくりとし  
て、広葉樹の植栽を実  
施している。今後もこ  
ういった活動を促進し  
ていく。

### 鳥獣の捕獲状況と処 分について

**問**鳥獣の捕獲状況と捕  
獲後の処分方法は。

**答**主な鳥獣の捕獲状況  
は、11月14日現在で、  
イノシシ1,538頭、  
ニホンジカ394頭、  
ニホンザル139頭、  
熊は11月30日現在で1  
43頭である。捕獲後  
の処分方法は、市と捕  
獲隊との契約の中で捕  
獲個体は捕獲者の責任  
において適切に処分す

るものとするとしてお  
り、多くの場合は捕獲  
隊の所有地等に埋設し  
ている。

**問**捕獲した鳥獣の処分  
地や処分方法について  
市として支援すること  
はできないか。

**答**年々捕獲頭数が増え  
ていて、埋設場所も限  
られてきていると推察  
される。実態調査をし  
状況により検討を進め  
たい。

### ごみ減量と新たな活 用方法について

**問**ごみ減量と新たな活  
用方法として、生ごみ  
を原料とする発電は考  
えられないか。

**答**発電に活用できる生  
ごみは平成25年度実績  
で、1日当たり約13ト  
ンとなっている。今後、  
人口減少によりごみの  
量は減少すると予想さ  
れ、効率的な発電が可  
能かなどの課題がある。  
新ごみ処理施設建設  
計画の中で他の方法等  
とあわせて検討してい  
く。